



林 声



OKAYAMA

お か や ま
No.390. 2006. 11. 1



ふれあい木材展（イオン倉敷ショッピングセンター）

目 次

○おかやま森づくり県民税事業 の取組状況について	2	○地域でがんばっている人	6
○普及情報	4	○研究だより	7
○普及指導最前線	5	○お知らせ	8
○木材の利用促進	6	○林産物市況	10

おかやま森づくり県民税
事業の取組状況について

森林は、水源のかん養、山地災害の防止、地球温暖化の防止など、私たちの生活に欠くことのできない大切な働きを持っています。

県では、健全で機能の高い森林を守り育てるため、おかやま森づくり県民税を活用して、森林の整備を積極的に推進しています。

1 森林機能強化事業

木材価格の長期低迷により、間伐意欲が減退しており、間伐が実施されないままに放置された人工林は下層植生が消失し、水源かん養機能の低下や土砂の流出等による災害の発生が懸念されます。

このため、国庫補助の対象とならないで放置されている奥地林等や三十六～四十五年生の切捨間伐と、これに必要な作業道の開設経費を補助することにより、森林の機能の強化を図っています。

2 搬出促進事業

スギ材の価格はヒノキ材より大幅に安く、間伐が遅れています。

そこで、スギ林の間伐を促進し、資源の有効利用を図るため、山土場から市場までのスギ間伐材

搬送費を補助しています。

3 森林災害復旧緊急支援事業

平成十六年台風第二十三号により、岡山県では県北部を中心にかつて経験したことのない五千五百㏎にも及ぶ風倒木被害が発生しました。近年、林業の採算性が低下する中で、この風倒木被害は森林所有者にとって大きな痛手となり、復旧意欲を失う所有者の方も少なくありませんでした。

このため、復旧対策の中心となる森林災害復旧事業において、国の定めた六分の四の補助率に加え、県民税を活用して六分の一の上乗せ補助を行い、合わせて六分の五の高率補助とすることで、森林所有者の負担を軽減し、復旧を支援しています。



これにより、風倒木被害の復旧は、概ね順調に進んでおり、平成十八年度末で全体の七割、約三千㏎の復旧を完了する予定です。

なお、森林災害復旧事業による伐採・整理等への助成は十九年度まで（植栽は二十年度まで）となっており、期間内に復旧計画を達成できるよう関係者は総力を挙げて取り組んでおります。

4 風倒木等活用治山施設整備事業

森林の整備は間伐施設等への直接的な支援ばかりでなく、木材の積極的な利用によって促進されます。

このため、十八年度から新たに、多くの皆さんの目に触れる展示効果の高い場所を選んで、風倒木等を活用した治山施設を整備しており、木材の積極的な利用を促し、他の公共事業への波及効果を期待しています。

(治山課 造林班・治山班)



コマツのグラップルレンタル機ラインナップ

〒708-0014 岡山県津山市院庄921-1
コマツ中国(株)津山営業所
TEL. (0868) 28-2261



ベースマシン	PC 45MR-1	PC 78US-5	PC 138US-2
機械質量	4.9ト	7.4ト	13.9ト
接地幅	1,960mm	2,320mm	2,490mm
グラップルメーカー	コマツ	イワフジ	松本システム
型式	LH03-3E	GS65LHV	MSE45LGS
最大開口幅	1,185mm	1,620mm	1,910mm
最小掴み径	105mm	95mm	80mm
ウインチ	有	無	無



林業の機械化に取り組むコマツはグラップルのレンタルも各種取り揃え対応いたします。☑
1日からでもお気軽にご利用下さい。☑



平成17年度事業実績と18年度計画

区 分	17年度実績	18年度計画	補 助 率 等
☒ 森林機能強化事業 ☒	559ha 22,599m 98,464千円	980ha 26,000m 162,801千円	間伐は実質補助率 68% 作業道開設経費の補助率 1/2 (m当たり2千円以内)
搬出促進事業	37ha 2,801千円	120ha 9,600千円	2千円/立方メートル (1畝あたり40立方メートル以内)
森林災害復旧 緊急支援事業	799ha 195,248千円	1,294ha 367,349千円	補助率1/6、森林災害復旧事業4/6と合わせて5/6
風倒木等活用 治山施設整備事業		140立方メートル 30,000千円	治山事業施行地 (生活環境保全林等) など5箇所を実施予定

※下段は予算額、森林災害復旧緊急支援事業については、事業量は被害木整理と跡地造林の延べ面積であり、平成18年度予算額のうち192,858千円が県民税分、他の事業は全額が県民税による。



みどりの少年隊活動発表

「みどりの大会開催事業」
秋のみどりの月間の十月十四日(土)高梁市松山の「高梁美しい森」において「岡山県みどりの大会2006」が岡山県高梁市(社)岡山県緑化推進協会の主催で開催されました。植樹やネイチャーゲーム、自然観察などの自然体験活動を通じてみどりの大切さを楽しみながら学び、森林をはじめとするみどりを守り育てていく心を育んでもらおうと開催されたもので、みどりの少年隊の子どもたちや関係者ら約五〇〇名が参加しました。



森の探検 (宝探し)

(自然環境課)

大会を記念し、参加者全員で、桃太郎松・ヤマボウシ・ヤマザクラなどを植樹しました。「みどりわんぱく村祭」では、NPO法人ふれいあの里・高梁、県森林インストラクター一会、県キャンプ協会の指導者により、様々な自然体験活動を行いました。「森で学ぼう」のコーナーでは、木の実、きのこなど森の宝物探しや炭焼き体験をしました。「森で遊ぼう」の、目かくしトレイルなどのネイチャーゲーム、「つくって遊ぼう」の小枝や木の葉クラフト、「つくって食べよう」の木の实蒸しパンづくりなど子どもたちは、里山の豊かな自然を楽しみながら交流を深め、みどりの大切さを学びました。

緑あふれる環境づくり

株式会社 山 都 屋

本社 〒703-8273 岡山市門田文化町2丁目11番51号
TEL(086) 272-2161 FAX(086) 272-2142
http://www.harenet.ne.jp/yamatoya
大阪営業所 津山営業所 水島営業所☒

木 を通して環境保全に貢献しています

公園修景施設・土木用資材
防腐処理・住宅用プレカット資材

さんもく工業株式会社

〒702-8045 岡山県岡山市海岸通2丁目6番3号
TEL086-262-0137(代) FAX086-262-0130

普及情報

岡山県林業試験場で実施した、森林経営インターンシップ研修について、紹介します。

近年全国的に、林業労働力の減少と後継者不足が懸念される中、本県においても各種施策により労働力の確保に努めています。森林組合作業班員を見れば、昭和六十年度の一、五八三人から減少し続け、平成十六年度には、その三一%の四九六人となっています。

このため、林業が魅力ある職業として認識されるようにイメージアップを図り林業関係への就業の促進を目的として、森林経営インターンシップ研修を実施しています。

この研修は、平成五年度より継続して行っているもので、林業専門教育を行っている岡山県立勝間田高校の林業緑地科三年生を対象とし、毎年就職活動が始まる前に実施しており、本年度は、二二名の研修生が参加しています。

研修内容
体験重視型の研修で、四日間のスケジュールで実施しています。高性能林業機械は、試験場の機械を使用し、研修地については県行造林地を設定しています。

初日の研修は、試験場内の施設を

利用し、室内講義として行います。

研修生の集中力を持続させるためにビデオや写真を使用、また、実際に使用する機械の取扱説明と実習で行う作業システムの説明を行うことで、研修生の意欲と集中力を高めています。

二日
目からは、現地での実演と実習とし、三班に分かれて高性能林業機械の運転操作及び作業システムの中での役割を実習しています。



研修生の反応

このように、四日間研修を実施しましたが、実際研修生にはどのような印象だったのか、林業関係への就業動機に繋がっているかなど、アンケート調査を行っていますので、その一部を紹介いたします。

Q:それぞれの機械を操作した感想は？(この質問は作業機械ごとに問いかけています。)

A:操作が難しい。ゲーム感覚で作業ができ楽しかった。慣れると思うように動いてくれ、重たいものを早く処理でき役に立つ機械だ。

など、機械作業の利便さ、近代林

業の一端を感じ取ってもらえたと思います。

Q:今回の研修はあなたにとって役に立ちそうですか？また林業のイメージはどのように感じられますか？

A:林業の仕事に少しあこがれた。林業の仕事は、キツイだけじゃなく楽しさがあるなと感じられた。学校で行っていた実習とは全く違い、林業のイメージが良くなった、林業の仕事をするようになったら、また機械を使ってみよう。すべての感想を記載できませんが、一応にして林業のイメージが機械作業もあるんだと認識してもらえたことについては、当初、目標としていた一部は達成できたと思います。

すべてが、機械作業で行える現場ではないことは、研修生に十分理解してもらい必要がありますが、就業の動機付けの一端としては十分な効果があったと思います。

今後、研修生が就業の場として林業関係を選択し、活躍することを期待しています。

おわりに

試験場には多くの新人の林業作業の方が研修に来られ、林業の知識や基礎技術を習得し、第一線の現場で活躍されています。この森林経営インターンシップ研修に参加した研修生に林業の現場で、再び会えることを期待しています。

(林政課 林業普及指導員)



高性能大型林業機械から電動工具まで何でも揃う

美津吉商事株式会社

津山市一方 194 〒708-0883 TEL(0868)23-2255

<http://www.mitsuyoshi.com/>

普及指導最前線

「地域の力で

竹やぶを竹林に」

倉敷普及指導区

一 はじめに

タケノコの産地として有名な倉敷市真備地域でも、輸入タケノコや生産者の高齢化等により、放置竹林や拡大竹林が増大し山林荒廃の原因となっています。当普及指導区では、「竹やぶ」健全化の方法を検証し、問題解決の足がかりとするため、今年度から「真備美しい森」でボランティアによる竹林整備を推進しています。

二 竹林整備の内容と活動

「竹やぶ健全化のため①枯竹、倒伏竹等の除去及び整理、②林内密度を一〇〇平方メートル当り三〇本程度まで伐採、③小径の竹を小型移動式チップーにより小片化し、竹林内の散策路に敷設、という作業手順で整備を実施しました。また、大径の竹は美しい森内の藤棚で日よけとして利用しています。○整備前の竹林の本数密度が一〇〇平方メートル当り二〇〇本と非常に高く、また、枯竹・倒伏竹等が多

かったこと、林床の一部が泥沼化していたことから、重労働を伴う作業となりました。

この作業には、これまでに地域の住民や富山大学・吉備国際大学の学生など一三〇名がボランティアとして参加しましたが、年度内にと数回の作業を予定しています。



学生による竹林整備

三 今後の取組

自然体験や環境学習に力を入れている小学校などの教育機関との協働により、整備された竹林を森林・林業体験学習の場として活用して、シイタケ原木の伏込みや竹炭焼き体験などを行う予定です。当普及指導区としては、ボランティアによる竹林整備を来年度以降も継続し、竹林の再生に取り組んでいきたいと考えています。

(林業普及指導員 井上真吾)

「皆木のマンサク」群生地の再生に向けて協働で取り組む

勝英普及指導区

一 はじめに

奈義町皆木地区には、県の郷土記念物に指定されたマンサクの群生地があります。毎年、可憐な小花を咲かせ、県内外から多くの観光客が訪れていますが、近年、謎の葉枯れ現象が発生し、樹勢も弱まり、花がほとんど着かない状況が続いています。当普及指導区では、地元と協働で、群生地の再生に向けて取り組んでいます。

二 後継樹の育成

葉枯れ現象の原因は今のところ解明されておらず、抜本的な対策がとれないことから、目下、後継樹の育成を行っているところであります。群生地の健全木等から採取した種子を平成十六年の春に播種したものが、現在、五〇〇本程度順調に生育し、地元により適切に管理された苗木は、大きなものは既に一畝近くになり、平成二〇年の春には、いくらか植林を行ってみようと考えています。

三 群生地の現況調査等

八月に群生地の標準地調査を

行ったところ、一畝当たり換算で約四千本のマンサクが存在することを確認しましたが、その内、約六割はすでに枯損し、残っているものも葉の量が少なく衰弱していることがわかりました。

炭焼きや薪を採りに人が山に入らなくなったことが、マンサクの生育環境を悪くしている可能性もあるため、不要な広葉樹等の伐採など、生育環境の整備も必要ではないかと考えています。

四 おわりに

手探り状態ではありますが、今後も、地元と協働し再生に向けて努力していきたいと思えます。



地元との検討会議の様子

(林業普及指導員 芦田素廣)

木材の利用促進

「木づかい運動について」

水源のかん養や国土の保全など森林の持つ多様な働きを高度に発揮させるため、また、地球温暖化対策の二酸化炭素吸収源として、森林を守り育てることの重要性は高まる一方です。

京都議定書において日本は、二酸化炭素排出量を二〇一二年までに一九九〇年水準より六%削減、そのうち三・九%を森林の吸収によるとする約束をしています。しかし、排出量は逆に八%増加しており、また、日本の森林も国産材価格の低迷に伴い林業収入が大幅に減少し、森林の手入れが続かないという悪循環に陥っています。



このため林野庁では環境省が省エネ対策として「クールビズ」を提唱したのと同様、吸収源対策を促進するため、国産材の利用を広

く呼びかける「木づかい運動」を昨年度から展開しています。

特に一〇月には「木づかい推進月間」として、岡山駅前「暮らしの中に木材・木製品を！」と呼びかける垂れ幕を掲示したり、各地で県民局職員がチラシを配布したり、ふれあい木材展や木工教室など木材に関する催しが各種林業団体により開催されました。



PRロゴマーク

ところで、木づかい運動の普及啓発を目的に「サンキューグリーン」

「ロゴマーク」が制定されています。このマークは、企業等が使用登録の上、国産材を使用した製品などに表示できるもので、これにより消費者が国産材製品を選択しやすくなるとともに、企業にとっても国産材の率先利用を社会貢献活動の一環として広くPRできるようにしました。

すでに県内にも、登録した企業や団体があります。皆さんも、木製品を選ぶ時には、このマークの表示を確かめてみましょう。（林政課 木材需要拡大推進班）

地域でがんばっている人

「南倫一さん(高梁市玉川町)」

高梁普及指導区

高梁市玉川町増原在住の南倫一さんを紹介します。

南さんは、昭和三十七年からしいたけ栽培を始め、現在までしいたけ栽培一筋に取り組んでこれらるとともに、今までに全国各地で講習会を開催されてきました。南さんは、アカマツ林に落葉広葉樹が混じった庇陰の理想的なしいたけほだ場に約三万本のほだ木を所有され、中には直径四十センチもあるクヌギ等の大径のほだあり、スプリンクラーで計画的に散水し、秋～春子を一年に四回十一月から四月にかけて発生させており、主な出荷先は岡山市の百貨店等です。

九月二十七日には高梁地方森林組合の組合員でしいたけ栽培に取り組んでいる二十一人が津川地域市民センターに集まり、講習会を開催しました。

講師を務められた南さんは、最近、しいたけ栽培者の減少を心配されており、講習会では今までの経験で培った豊富なしいたけ栽培の知識や技術を惜しげもなく講習

会参加者に伝えていました。

講義の中では特に、しいたけ原木の伐採時期は三分黄葉を忠実に守らないと原木の水揚げが悪い。三分黄葉とは、樹木の下側の枝一～二本が黄葉した時である。植菌穴は半径まで達する深さの穴を開けるのが理想である等を指導され、参加者は豊かな経験と実績に基づき自信に溢れた語り口に、引き込まれるように熱心に聞き入っていました。

南さんは、後継者の増加としいたけ生産量の拡大を心から願っており、要請があればどこへでも出向いていく等後継者の指導に意欲的であり、今後もなお一層の活躍が期待されます。



講習会の状況

(林業普及指導員 近藤 和夫)

研究だより

素材(無処理木材)の耐朽性について

岡山県木材加工技術センター

専門研究員 金田 利之

一 はじめに

木材の土木用途への利用は、県産材の需要拡大を図る上で重要です。木材加工技術センターでは、土木用途への県産材の利用拡大を目指して、県内五カ所に屋外暴露試験地を設置して、平成七年から素材(無処理木材)及び保存処理木材の野外試験を実施し、経年的に追跡調査をしています。これまでに得られた結果から、スギ及びヒノキの耐朽性について紹介します。

二 野外試験について

野外試験は、日本工業規格の「木材保存剤の性能試験方法及び性能基準」に準拠して実施しました。すなわち、木口断面が三センチ、長さ六〇センチの試験体を長さの半分まで地面に埋め込んで設置し、これを毎年二回引き抜き、試験体の頂部、地際部及び地中部の被害の度合いを調査するものです。



野外試験の状況

表-1 被害度判定基準

被害度	観察状態
0	健全
1	部分的に軽度の虫害または腐朽
2	全面的に軽度の虫害または腐朽
3	2の状態の上に部分的に激しい虫害又は腐朽
4	全面的に激しい虫害または腐朽
5	虫害または腐朽により形が崩れる

被害の度合いは、独立行政法人森林総合研究所が行う基準(表一)に従って判定しました。耐用年数は、各部位ごとに算出した被害度の平均値が最も早く二・五に達した時点としました。

三 被害の進行状況

被害経過の一例として、県北部地域(林業試験場)と南部地域(笠岡湾干拓地)におけるスギとヒノキの心材杭の被害経過を図一と二に示します。

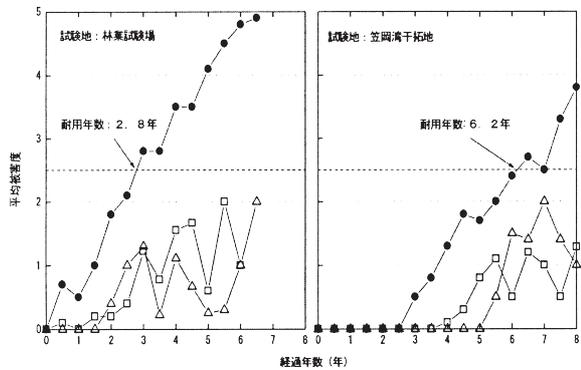


図-1 スギ心材杭の被害経過
△: 頂部、●: 地際部、□: 地中部

被害の進行状況は両樹種ともおむね地際部分が最も早く進行していました。これは他の試験地、他の樹種でも同様でした。木材腐朽菌が木材を腐朽するためには、栄養、水分、空気(酸素)などが必要です。地際部分は、土壌中から水分が、大気中から酸素が供給されるため、木材腐朽菌が木材を腐朽するための条件が満たされているので、被害が最

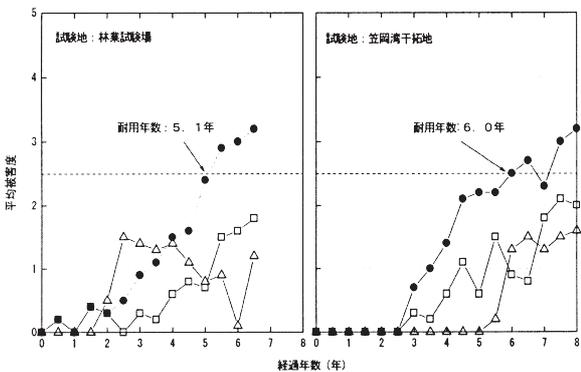


図-2 ヒノキ心材杭の被害経過
△: 頂部、●: 地際部、□: 地中部

も早く進行すると考えられます。四 耐用年数について 耐用年数に達した試験地について集計した結果、野外における耐用年数は、スギでは辺材が三~五年、心材が三~六年であり、ヒノキでは辺材が二・五~五年、心材が五~六年であり、辺材よりも心材の方が耐用年数が長くなりました。さらに、試験地間のバラツキや気候条件の違いはありますが、埋め立て地や干拓地など土壌条件が悪い試験地では耐用年数は長く、苗畑跡地や圃場など土壌条件のよい試験地では耐用年数は短くなる傾向が見られました。

お知らせ

ふれあい木材展の開催について

木材や木造住宅の良さなどについて消費者に広くPRするため、岡山県木材組合連合会の主催による「ふれあい木材展」が開催されました。

この催しは、昭和五十八年から毎年開催されており、今年もイオン倉敷ショッピングセンターのセントラルコートで、九月二十一日から二十四日までの四日間の日程で行われました。



ふれあい木材展では、県内の木材関連業者から集められた自慢の木製品や木工芸品が展示・販売され、子供連れの家族など多くの買い物客が足を止め、展示された木製品を手にとり、木の香りや温かみを楽しんでいました。また、人と環境に優しく、再生が可能な木



材の良さと特性を活かした木造住宅を紹介する「新築・リフォーム相談コーナー」も開設され、風土に適した地域の木材を使った家造りにも注目が寄せられています。

開催期間中、延べ約五千人もの来展者で賑わい、「環境」や「健康」への関心の高さが伺えることも、多くの方々に木材の良さを再発見していただけたかったです。また、生産者の皆さんにとっても、消費者のニーズを肌で感じる良い機会になったと思います。

今後とも、木の香る暮らしの良さを実感していただけるような取組を支援するなど、林政課ではさまざまな機会を通じて木材のPR活動を行っていきたくと考えていますので、御協力をよろしくお願ひします。

(林政課木材需要拡大推進班)

「おかやま森の大使」決定

当協会が、森林・林業の大切さや木材の良さについてPRを行うキャンペーンスタッフとして募集していた「おかやま森の大使」の面接選考会を八月二十九日に岡山市内で開催しました。この結果、新たな「森の大使」として、河本諒子さん(岡山市・大学生)と小泉仁美さん(津山市・大学生)の二名が選考されました。



左から小泉さん、河本さん

これまで「森の大使」を三名選考しておりましたが、市町村合併等により、近年イベント行事が減少傾向にあることから、本年度の募集は二名としました。

活動期間は十月から来年九月までの一年間で、県や市町村、関係

団体等が行う様々な行事に参加し、「おかやま森づくり県民税」の用途や森林・林業の重要性、県産木材の需要拡大などの普及啓発活動に努めていきます。

皆様方のご理解とご支援により、少しでも多くの活動の場を与えていただきますよう、よろしくお願ひします。

なお、「おかやま森の大使」の活動についてのお問い合わせは当協会事務局(県庁林政課普及指導班)電話〇八六―二二六―七四五一)若しくは当協会支部(各県民局・支局の森林課)までお願ひします。

(林政課 普及指導班)

優良種菌で確かな収穫

もりのたねごま

◆シイタケ、ナメコ、ヒラタケ等の品種の選定及び栽培管理についてなんでも御相談下さい。

製造 森産業株式会社
総発売

岡山営業所 岡山市辰巳46-104
TEL 岡山(086)805-7033(代)

平成十八年度
表彰行事受賞者の紹介

長年、林業の振興に尽力された方々の受賞が決定しました。心からお慶び申し上げます。
(文中、①主な役職、②功績を記しています。敬称略)

一 第四十六回岡山県農林漁業近代化表彰

《林産部門》

○奈義町森林組合

(功績概要) 森林の造成、林産事業に積極的に取り組むとともに、高性能林業機械の整備拡充や外勤職員への月給制の導入により担い手の育成確保を図り、地域林業活性化の中核的な役割を果たしている。また加工事業では(株)奈義森林建築センターと連携し地域材の需要拡大を図っている。

二 第三十九回岡山県農林漁業功労者表彰

《知事表彰【林業】》

○山本啓太(玉野市築港)

①元玉野地区木材同業組合組合長②組合員の経営基盤の確立と近代化・合理化のために尽力した。

○池田和行(津山市山北)

①津山地区木材組合理事②製材工場の経営合理化や品質管理された優良材の安定供給に貢献している。

○福島 明(真庭市山久世)

①元山久世林業研究会会長②椎茸栽培の傍ら、県指導林家、林研会長として地域林業の振興に尽力した。

《知事表彰【団体指導】》

○長滝健吾(津山市吉見)

①津山市森林組合代表理事組合長②造林用苗木の安定供給、間伐材の需要拡大、樹皮の活用など幅広い分野で貢献している。

《農林水産部長表彰【林業】》

○山口昌治(新見市神郷油野)

①県椎茸生産者団体協議会副会長②椎茸生産者の指導・技術の普及に努め、安心・安全な原木椎茸の供給に寄与している。

○堀井 宝(高梁市備中町平川)

①元岡山県農業者②県農業者として若い農林家の育成・指導や地域農林業の活性化に貢献した。

◆《農林水産部長表彰【団体指導】》

○脇坂明敏(赤磐市多賀)

①元赤磐市赤坂森林組合組合長②組合の着実な健全経営と広域合併の推進に尽力した。

森林林業関係イベント参加者募集中

開催日時	開催場所	イベントの名称・内容	問い合わせ・申し込み先
高梁川流域			
H18.12.9 (土)	おかやま共生の森・哲多(新見市哲多町田淵)	☑ 保育のつどい(間伐)	☑ 備中県民局新見支局森林課 TEL: 0867-72-1177 (代表)
H18.11.4 (土)	おかやま共生の森・川上(高梁市川上町高山市)	☑ 保育のつどい(間伐)	☑ 備中県民局高梁支局森林課 TEL: 0866-22-4111 (代表)
H18.11.11 (土)	おかやま共生の森・井原(井原市西江原町)	☑ 保育のつどい(枝打ち)	☑ 備中県民局井笠支局森林課 TEL: 0865-63-5252 (代表)
H18.12.2 (土)	おかやま共生の森・井原(井原市西江原町)	☑ 保育のつどい(間伐)	☑ 備中県民局井笠支局森林課 TEL: 0865-63-5252 (代表)
旭川流域			
H18.11.25 (土)	おかやま共生の森・美甘(真庭市美甘)	☑ 保育のつどい(間伐)	☑ 美作県民局真庭支局森林課 TEL: 0867-44-3111 (代表)
H18.12.9 (土)	おかやま共生の森・久世(真庭市三阪)	☑ 保育のつどい(間伐)	☑ 美作県民局真庭支局森林課 TEL: 0867-44-3111 (代表)
H18.12.2 (土)	おかやま共生の森・加茂川(吉備中央町下賀茂)	☑ 保育のつどい(間伐・枝打ち)	☑ 備前県民局森林課 TEL: 086-224-3141 (代表)
吉井川流域			
H18.12.2 (土)	おかやま共生の森・勝北(津山市大岩)	☑ 保育のつどい(間伐)	☑ 美作県民局勝英支局森林課 TEL: 0868-72-0911 (代表)
H18.12.9 (土)	おかやま共生の森・柵原(美咲町書副)	☑ 保育のつどい(間伐・枝打ち)	☑ 美作県民局森林課 TEL: 0868-23-2311 (代表)
H18.11.12 (日)	おかやま共生の森・吉永(備前市吉永町加賀美)	☑ 保育のつどい(枝打ち)	☑ 備前県民局東備支局森林課 TEL: 0869-93-1111 (代表)

緑化用種苗木器材
庭公園樹各種芝
造園設計・施工



株式会社 **菁芳園**

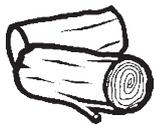
岡山市東古松2丁目10-28
電話 222-4038

日本産原木しいたけ栽培を応援します
品質の信用が第一です



法人 **日本きのこセンター**

〈本部〉鳥取市富安1丁目84番地 電話 0857-22-6161
〈鳥取駐在〉鳥取市古郡家211番地 電話 0857-51-8132



林産物市況



木材 (10月17日)

☒

単位：千円/㎥

樹種	長さ	径級	直材	小曲り	概況		
杉	3 m	7~13	本260	△	本200 -	出荷材積 約1,100㎥	
		14細	7	-	本200 -		
		14~16	11	-	10 △		
		18~20	13	△	10 △		
	4 m	7~12	本270	-	本200 -	中目材 横ばい 柱材 横ばい 小径木 横ばい	
		18~22	11	-	7 -		
		24~28	11	-	8 -		
		6 m	18~20	15	-		10 -
			7~10	本250	-		本200 -
			11~13	本560	△		本200 -
桧	3 m	14細	25.5	△	5 ▼	桧 中目材 強含み 柱材 強含み 小径木 強い	
		14~16	28	-	28 △		
		18~20	28.5	-	28 △		
		22~24	23	-	18 -		
	4 m	26cm上	23	-	18 -		
		7~13	本660	△	本220 -		
		14cm	27.5	-	20 -		
		16~18	29	-	26 -		
		20~22	25	△	23 △		
		24~28	25	△	23 △		
6 m	30cm上	25	-	23 △			
	14cm	26	△	20 △			
	16cm	37	-	33 ▼			
	18~20	37	-	33 -			
松	3 m	18~24	8	-	5 -		
	4 m	24~30	12	-	7 -		

乾しいたけ (10月20日) ☒

- ・出品数量 5.0 t
- ・価格高値 5,550円
- ・安値 300円
- ・総平均 3,200円

銘柄	価格		相場
	平均	高値	
香信大	5,120	5,550	◎
香信中	4,080	5,300	○
香信小	3,200	4,200	○
小間	-	-	-
香信山成	3,190	3,460	○
バレ大	3,270	5,220	○
バレ中	2,870	4,330	○
スライス	1,750	4,390	△
花どんこ	-	-	-
上どんこ	5,500	5,500	◎
並どんこ	4,090	5,020	○
並並どんこ	2,960	4,600	○
小玉どんこ	970	1,860	□
山成どんこ	2,670	2,900	○
こうこ	3,860	5,390	□
格外	2,150	3,410	△

価格：円/kg

(相場)

強：◎ 保合：○ 弱保合：□ 弱：△

資料：岡山県森連椎茸共販所市況速報

資料：岡山県森連勝山木材共販所市況速報、価格は中値。

製材 (10月中旬)

樹種	寸法	等級	区分	安値~高値
スギ	正角 3 m 10.5cm角	特等	G	28,000~35,000
		特等	K	45,000~50,000
ヒノキ	正角 3 m 12cm角	特等	G	28,000~35,000
		特等	K	45,000~50,000
ツ	正角 3 m 10.5cm角	特等	K	65,000~70,000
		特等	K	65,000~70,000
マツ	平角 4 m 10.5~12cm×15~18cm	一等	G	35,000~40,000
				K D 60,000~65,000
北洋アカマツ	正角 3 m、4 m 10.5cm角	特等	G	48,000~51,000
		特等	G	48,000~51,000
ホワイトウッド	平角 3 m、4 m 10.5×15~21cm	特等	G	46,000~47,000
		特等	K	54,000~56,000

注：価格は、岡山県内の市場の相場を参考とした。



「緑の募金」

ご協力をお願いします

募金期間 ☒
春のみどりの月間：4月1日~5月31日 ☒
秋のみどりの月間：10月1日~10月31日 ☒

緑の募金で ☒
ふせごう地球温暖化 ☒
21世紀は森林の世紀 ☒

(社)岡山県緑化推進協会 ☒
岡山市錦町1-8 TEL・FAX (086)221-9511

公園・街路修景施設の設計・製作・施工

その他木製品の注文承ります 水を活かす

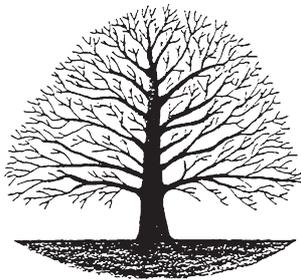


株式会社 フォレスト

〒702-8058 岡山市並木町二丁目16番22号
TEL 086-265-7350 FAX 086-265-1841

緑豊かな自然を守る

治山・林道事業の普及啓発、技術援助
 治山・林道の調査、測量、設計
 森林整備の総合計画
 治山・林道に係る用地測量
 公共事業に係る保安林業務



社団法人 岡山県治山林道協会



本所 〒703-8233 岡山市高屋225-1
 TEL (086) 271-3711
 FAX (086) 271-3773
 支所 〒708-0013 津山市二宮1849-2
 TEL (0868) 28-9360
 FAX (0868) 28-9363

—— 安全・人と自然・調和 ——

造林木を野生動物の食害から守る

〔野生獣類忌避剤〕 コニファー水和剤 〔幼令樹保護カバー〕 くわんたい
 〔樹皮食い防止に〕 バークガード 〔野生草食獣食害防止〕 防獣ネット
 〔クズ専用除草剤〕 クズノック・ザイトロン・ザイトロンフレノック
 〔樹幹注入剤〕 センチュリーエース
 (お問い合わせ申し込みは県森連・森林組合へ)

販売元：原岸株式会社

TEL：086-465-7136

大同商事(株)大阪営業所

TEL：06-6231-2819

—— サンケイ の松くい虫防除薬剤 ——

多目的使用(空中散布・地上散布)が出来る

スミパイン[®] 乳剤

樹幹注入剤 **グリーンガード[®]・エイト**
メガトップ[®] 液剤

伐倒木用くん蒸処理剤

キルバー[®]

伐倒駆除剤

パインサイド[®] S油剤C,D

お問合せは 県森連・森林組合へ



サンケイ化学株式会社

大阪営業所
大阪市淀川区西中島4丁目5番地1号 新栄ビル ☎(06)6305-5871

請負業者 ☒
賠償責任保険 ☒
共業火災 ☒

安心と信頼をお届けします。 ☒
☒

株式会社 ケンモリ ☒
(岡山県森林組合連合会 出資会社) ☒

〒700-0866 岡山市岡南町 2 丁目 5 番 10 号 ☒
(TEL) 086-224-7343 ☒
(FAX) 086-224-2655

危険な伐採作業のための ☒
安心のパートナーです ☒

林声 平成十八年十一月一日(三九〇号)

編集 岡山県庁林政課内
発行人 岡山県林業改良普及協会

日本植生は環境緑化技術を創造し、地球環境の保全に貢献します。 ☒

間伐材利用厚層植生マット ☒	間伐材利用植生マット ☒	間伐材利用生分解型植生シート ☒	間伐材利用植生シート ☒	再生紙利用植生シート ☒
グリーンフォーマット 〔切土軟岩用 ☒〕 	森樹郎マット 〔切土土砂用 ☒〕 	張りウッド ® 〔盛土用 ☒〕 	ハリシバモック 〔盛土用 ☒〕 	ペパール ® 〔盛土用 ☒〕 



「岡山県エコ製品」の認定を受けた5品目 ☒
間伐材や古紙を有効利用した環境緑化資材です。 ☒

太陽と緑の国づくり
Nihon 日本植生株式会社

<http://www.nihon-shokusei.co.jp/>
東中国支店/津山市高尾573-1 TEL (0868) 28-0256 ☒
岡山営業所/岡山市横井上1328-2 TEL (086) 294-1000

“ 備えあれば憂いなし ” 森林国営保険

加入できる森林は

人工林であれば、樹種、樹齢、面積など制限なく加入できます。

加入期間は

1年単位でいつからでもご希望の年数を加入できます。

保険金が出るのは

契約された森林が火災、風害、水害、雪害、干害、凍害などにより損害が出たときに、森林所有者に保険金が支払われます。

★森林国営保険についてのご相談は
もよりの市町村、森林組合または県民局・支局森林課の窓口へどうぞ。

●岡山県農林水産部治山課 電話番号 086(224)2111 (代表)
086(226)7455 (直通)